

令和4年度の予算



財政課

298億5,000万円 (カッコ内は前年度比)

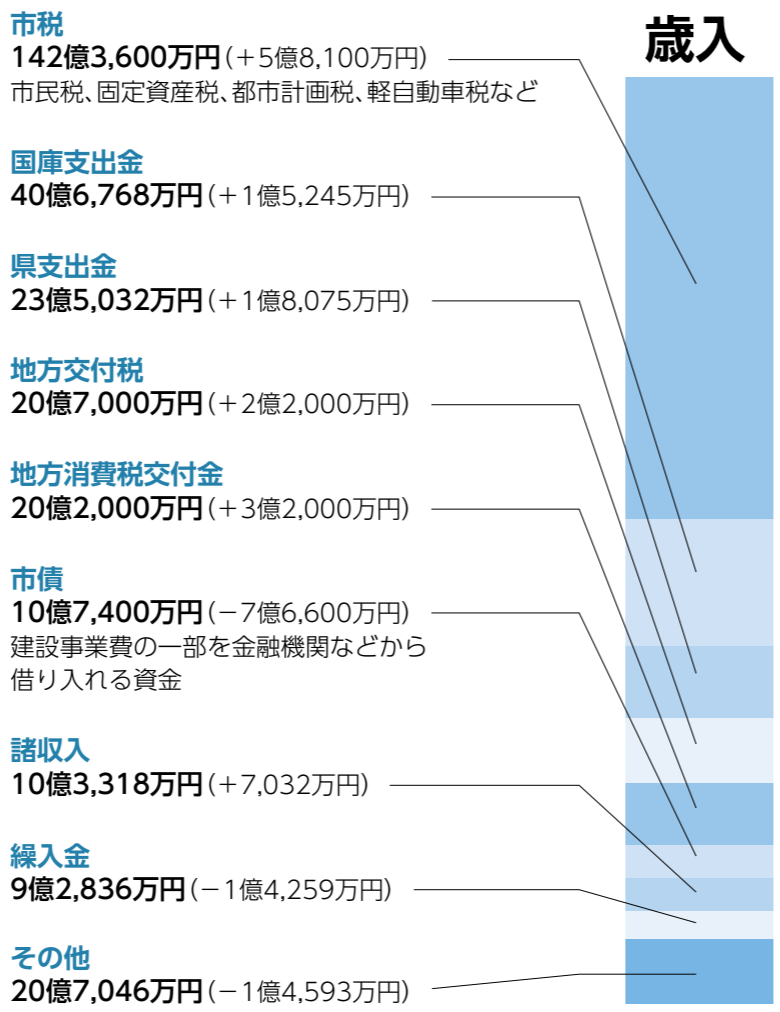
一般会計

特別会計

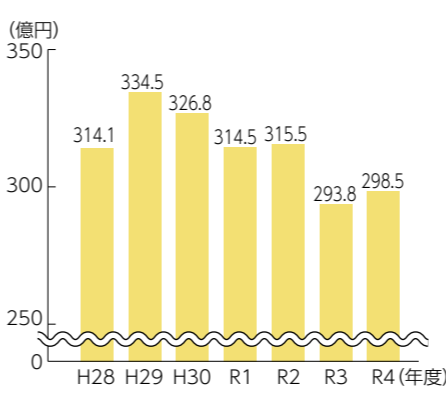
会計	金額
国民健康保険事業	106億円
後期高齢者医療	16億700万円
介護保険	76億4,370万円
自家用工業用水道事業	1億6,200万円
農業集落排水事業	1億5,600万円
可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業	10億3,200万円
財産区(5地区の計)	2,210万円
合計	212億2,280万円

企業会計

会計	金額
水道事業	32億7,700万円
下水道事業	46億6,300万円
合計	79億4,000万円



一般会計当初予算額の推移



令和4年度予算は、一般会計298億5千万円、特別会計と企業会計を合わせて総額590億1280万円となりました。前年度予算と比べて一般会計は1・6%、総額で2・5%増額しました。

歳入では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ景気が一定程度回復すると予測されるため、市税と地方消費税交付金の増加を見込んでいます。また、蘇南中学校大規模改修事業などが終了したため市債が減少しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を引き続き実施しながら、行政のデジタル化や脱炭素化の推進に積極的に取り組めます。さらに、「住みごこち一番・可児」安心、元気、楽しいまちへの推進の実現に向けた重点方針事業を着実に進めていきます。

今年度の主な事業

新型コロナウイルス感染症対策
 新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、ワクチン接種を行います。また、公共施設や学校などにおける感染症対策を継続して実施します。

地域経済の回復
 リフォーム助成金など事業者支援の取り組みとともに、市制施行40周年記念事業としてプレミアム率40%のKマナーを発行し、地域経済の活性化を図ります。

デジタル化推進
 市民の利便性向上を図るため、インターネット経由でもどこからでも手続きができるよう、行政手続きのオンライン化を進めます。

脱炭素化推進
 小中学校や地区センターの照明を計画的にLED化します。また、公用車に電動自動車を導入します(災害時などには非常用電源として活用します)。

重点方針事業

高齢者の安気づくり
 適切で過不足のない介護サービスを提供する。住み慣れた地域で安気に暮らし続けることができるよう、介護サービスを安定的・継続的に提供します。

高齢者虐待に対応
 高齢者虐待が発生した場合、生命や身体を守るため、医療機関、福祉施設、警察などと連携し、緊急的な一時保護を行います。

子育て世代の安気づくり
 産後うつや新生児への虐待を予防するため、出産後間もない時期の産婦の健康診査(母体の身体機能の回復や授乳状況、精神状態の把握など)に対して助成を実施し、産後の初期段階における母子への支援を強化します。

多様な保育ニーズに対応
 保護者の就労などによる多様な保育ニーズに対応するため、すみれ保育園とはぐみの森保育園の認定こども園への移行を支援します。

キッズクラブの新設
 子育て世帯の保育ニーズに対応するため、今渡北小学校に第2キッズクラブを新設します。

地域・経済の元気づくり
 可児御嵩インターチェンジ工業団地の開発
 令和6年度分譲開始に向けて積極的な企業誘致活動などを計画に沿って進めていきます。令和4年度は発掘調査を継続して実施することにも、工業団地本体造成工事に着手します。

まちの安全づくり
子どもたちの通学路をより安全に
 子どもたちが安心安全に通学できるように、通学路合同点検の結果に基づき、防護柵の設置、カラー舗装などの安全対策工事を実施します。

また、最高速度を30km/hに規制し、狭さくなどを設けることで交通安全の向上を図る「ゾーン30」プラスを、広見と今渡の2地区に設定します。さらに広見地区は、園児の安全確保ができるよう、ひろみ保育園周辺を「キッズゾーン」に設定し、ドライバーに注意喚起をします。



カラー舗装の例